**第３学年１組　道徳学習指導案（略案）**

**1　主題名**　いのちのあるものを大切に〔内容項目3－（1） 〕

**2　資料名**　「目の見えない犬」（出典：学研）

**3　本時の学習指導　指導計画**

　　１時間（本時）

**4　本時の学習指導**

（１）　ねらい

　　　　生命の尊さを感じ取り、命あるもの全てを大切にしようとする心情を育てる。

（２）　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学習活動** | **主な発問と予想される児童の反応** | **教師の支援** | **時間** |
| 1　命はどのようなものにあるかを話し合う。  2　「目の見えない犬」を読んで話し合う。   |  | | --- | | 場面1  わたしが子犬を抱きしめた場面 |  |  | | --- | | 場面2  母に怒られた場面 |  |  | | --- | | 場面3  だんに「いってきます」という場面 |   3　この話や生活を振り返って、命について気付いたことや、考えたことを話し合う。  ワークシート  4　教師の経験を聞く。  5　本時の振り返りをする。 | ○命は、どのようなものにありますか。  ・動物  ・人  ・植物  ・魚  ○登場人物は誰でしたか。  ・目の見えない犬  ・だん  ・自治会長の坂本さん  ・のぞみちゃん  ・わたし  ・お母さん  ○「目が見えないんだな。」と聞いてわたしが思わず抱きしめたのは、どんな気持ちからでしょうか。  ・目が見えないのがかわいそう。  ・捨てられていて、死んでしまったらどうしよう。  ・生きているのに、捨てるなんてひどい。  ・この目の見えない犬を助けてあげたい。  ・わたしがなんとかしてあげたい。  ・命は一つしかないものだから、生きているだんを救いたい。  ○「みんなにめいわくをかけているのよ」と母に怒られても、「目の見えない人は・・・。」と聞いたのは、わたしのどんな考えからでしょうか。  ・犬にだって命があるのに。  ・このまま捨てたら、子犬は死んじゃうのに。  ・命を守るために頑張らないといけない。  ・犬の命より団地のルールの方が大切なんておかしい。  ・犬の命を大切にしたいと考えたから。  ・どうして人間は助けてもらえるのに、犬は助けてあげちゃいけないの。  ・人間は助けてもらっているのに、困っている犬を助けないのはおかしい。  ○「だん、いってきます。」と言っているわたしは、どんな気持ちでしょうか。  ・だんの命を救うことができてうれしい。  ・団地の人たちがわかってくれたおかげで、だんを助けることができた。  ・だんの命も私達と同じ大切な命だから、守るため頑張って良かった。  ・これからもだんを大切にお世話していきたい。  ○この話や生活を振り返って、どのような場面で命を大切にしますか？  ・動物の命を大切にしたいと思った。  ・命は人間だけじゃなくて、他の生き物にもあるのだと感じた。  ・命はみんなで大切に守っていくものだと感じた。  ・すべての生命あるものは大切で、困っていたら人だけでなく動物なども助けてあげたい。  ・自分の生命も自分の周りの生命も大切にしたい。  ○どんなことを感じたか。  ・命をもっと大切にしたい。  ・命の重さに、大きいも小さいもない。  ・人間だけじゃなくて、動物の命も大切にしたい。  ・人間も動物の命も大切にし、困っていたら助けてあげたい。 | ○どのようなものに命があるのか考えることにより、ねらいとする価値、「命の尊さ」への関心を高める。  ○児童の発言から、登場人物を黒板に書いていく。  ○小さな生命のかけがえのないもの、大切なものとして感じているわたしの気持ちを共感して捉えられるようにしていく。  ○子犬のことで母から相手にされないばかりか、団地のみんなにまで反対され、それでも子犬を救おうとしているわたしの生命に対する深い思いを、十分に理解していくようにする。  ○犬を平気で捨てたり、命よりも団地の規則を優先する考え方に疑問を持ったことを確認する。  ○わたしの働きかけにより、かけがえのない尊い命をみんなで大切にしていることへの喜び、生命の尊さへの畏敬の念を掴んでいけるようにする。  ○ひとつの命を救えた喜びと、みんなで助け合って生きている喜びを感じられるようにする。  評動物、植物、身の回りの全てのものに命があり、その大切さに気付くことができている。  ○生命は、他のものでは代用できないかけがえのないものであることを理解して、ねらいにせまっていくことができるようにする。  ○人間以外にも生命があるということの大切さの体験談を交えて話すことで、生命の大切さ、自分と周りの生命を大切にすることを理解することができるようにする。  ○本時を振り返り、命はみんなで大切に守っていくものであり、大小は関係のないということを考えることができるようにする。 | 5’  25’  10’  1’  4’ |

**5　備考**　在籍児童数　35名

**6　板書計画**

命…動物、人、植物

　　　目の見えない犬

　　のぞみちゃん　坂本さん

　　お母さん　だん

　　わたし

○わたしが子犬を抱きしめたとき

　目の見えない犬がかわいそう

　わたしが何とかしてあげたい

○母に怒られたとき

　人間は助けるのに、犬は助けないの…

　犬の命より、団地のルールの方が大切なの？

　人間は助けるのに、どうして犬は助けちゃいけないの

○「いってきます」というばめん

　団地の人がわかってくれたおかげで、だんを助けることができた

　だんの命もわたし達と同じ大切な命だから、守るためにがんばってよかった

　これからもだんを大切にしたい

↓

動物、植物の全ての命を大切にする

命あるものはみんなで大切にしていく